



巣立ち

加東市立社学園中学校
生徒指導通信
発行者

言葉と歌の 心動く舞台



11月1日（土）に、文化発表会が行われました。午前の部はテーマを自由に決めて作文をし、その内容を発表する「弁論大会」、午後の部は各クラスで合唱曲を披露し合う「合唱コンクール」を行いました。弁論大会と合唱コンクールを通して、皆さんの成長と輝きがたくさん見られました。

弁論大会では、一人ひとりが自分の言葉で思いを語り、聞く人の心にしっかり届く発表をしてくれました。大勢の前に立ち、緊張を乗り越えて最後まで堂々と発表した皆さんの姿には、強い意志と責任感が感じられました。また、今回発表者ではなかった人も、教室で原稿作成の段階から粘り強く考え、伝えたいことを言葉にして伝える姿勢がとても立派でした。

合唱コンクールでは、クラスが一つになって目標に向かう力が見事でした。放課後も声を掛け合いながら練習する姿、より良いハーモニーを粘り強く追求する姿がたくさんありました。本番では、会場いっぱいに響いた歌声と表情から、皆さんの真剣さと団結することの素晴らしさが伝わってきました。特に、9年生はどのクラスも本当に素晴らしいものでした。大きな声が出ている、音程がパートごとに揃っているのはもちろんのこと、歌っている姿や表情、ピアノ・指揮を含めたクラス・学年の一体感からは、3年間の成長や想いがひしひしと伝わり、自然と聞き入り魅了されてしまうほど、会場にいる全ての人を感動させてくれました。

一人ひとりが自分の役割を果たし、仲間とともに最高の舞台を作り上げた経験は、大きな財産です。努力を惜しまない姿勢、仲間を信じて行動する力を、これからの学校生活にも生かしてってください。

また、「中央委員選挙」が12月に行われます。社学園中学校のために立候補している生徒がいます。弁論や合唱では、前で発表や活動する時にそれを支える雰囲気が出始めています。12月に行われる「義士奉賛駅伝」や「学園会中央委員選挙」をはじめ、それぞれの目標に向けて、「よし、やろう！」「頑張ってみよう」と自分自身を高めるためのスタートラインに立っています。

一歩前に出ようと信念を持ち、何かに対する使命感を持った時に、人は強くなり、大きく成長できます。個性や考え、そして誰かのチャレンジ尊重しながら応援する環境になれば、学校やクラス等、そこはとても心地よい場所（舞台）になります。そんな舞台を、学校行事などを通して今後も皆でつくっていきましょう。

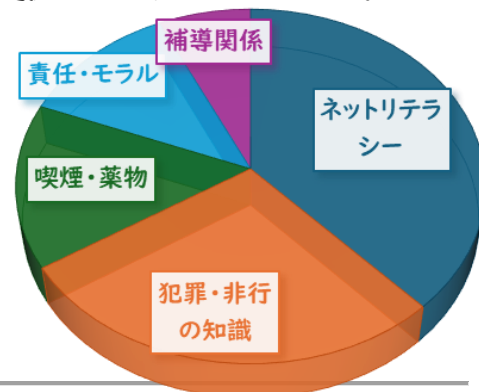


情報モラル教室 ～生徒アンケート結果報告～

中学生を取り巻く環境は便利になっていますが、危険も身近になっています。兵庫県警東播少年サポートセンターの警察官の方から「情報モラル」だけでなく、自分の身を守るために様々なことを教えて頂きました。以下は生徒アンケートの分析です。自分の将来を大切にするため、正しい選択をする力をつけましょう。

① 講演を通して学んだこと（自由記述からの主な傾向）

テーマ	内容の要約
ネットリテラシー	投稿や個人情報の危険性、拡散の怖さ
犯罪・非行の知識	14歳以上で逮捕、共犯、万引き・器物破損など
喫煙・薬物	タバコ・電子タバコ・大麻などの害
責任・モラル意識	自分の行動に責任を持つ大切さ
補導・夜間外出など	補導時間・ルール認識



② 印象に残った内容（生徒の声）

- * 「14歳から逮捕されることを初めて知った」
- * 「補導の時間（23～5時）やルールを初めて知った」
- * 「電子タバコも違法だとわかった」
- * 「他人の万引きに関わるだけでも罪になると驚いた」

→ 今回は「知らなかったことを知る」学びが中心であった。

日常の中で軽く考えていた行動が、実は危険・犯罪につながるという気づきが多く見られた。

③ よりよい講演にするための、生徒からの意見・提案

提案の方向性	主な意見例	割合
体験・参加型の授業にしてほしい	劇・ロールプレイ・クイズ形式	35%
映像や実例をもっと見たい	実際の事件・被害者の話・写真など	30%
詳しく知りたいテーマを掘り下げてほしい	SNSトラブル・喫煙の害・罪の重さなど	20%
環境や雰囲気工夫	椅子の用意・聞きやすい環境	10%
学校・家庭での共有	ポスター・SNS発信・家族に話す	5%

④ アンケート結果の総合分析

- 効果：多くの生徒が「知らなかったことを知った」「怖さを実感した」と答え、啓発効果が高かった。
- 課題：受け身の学びにとどまる傾向があり、「体験・参加型」へのニーズが強い。
- 今後の方向性：リアルな実例・映像・参加型ワークを通して「自分ごと化」することが重要。

⑤ 今後の改善提案（生徒の声）

改善ポイント	具体策
体験的な学び	・模擬SNS投稿体験（安全・危険を判断） ・「もし自分だったら」シミュレーション
実例・映像活用	・実際の事件映像・インタビューを導入
ワークショップ形式	・グループで意見交換するパートを設ける
講演後の振り返り	・家庭やクラスで話し合うワークシート配布



⑥ まとめ

- ・情報モラルの理解度・関心ともに高まった講演であり、生徒の意識変化は明確に見られた。
- ・今後は「自ら考え・判断する力」を育てるため、参加型・実践型の指導への発展をめざす。